

## ⑤-2 空コンテナ返却場所一時移転 令和3年度社会実験 実施結果

### 【実施結果】

社会実験期間中(平日10日間)の夢洲 (DICT) へ返却される空コンテナ本数全体 (約9,500本) のうち1,038本を咲洲へシフトした。

その効果として、13時時点の空コンテナ返却車両の夢洲道路上待機台数が155台/日から123台/日 (▲21%) に減少した。

夢洲の空コンテナ返却本数と道路上待機台数の比較(平日)

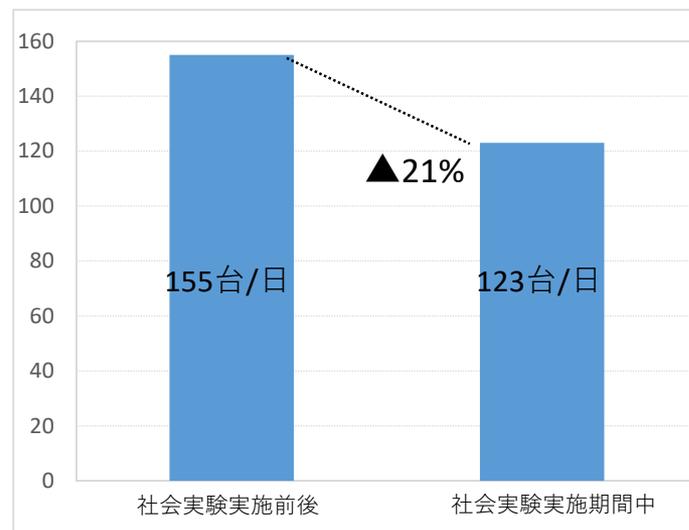
		返却本数(本)		13時時点の待機台数(台)		
		合計	日平均	合計	日平均	減少率
社会実験 実施前後	10/11~15 11/1,2,4,5 (9日間)	8,494	944	1,391	155	—
社会実験 ※ 実施期間中	10/18~22 10/25~29 (10日間)	8,504	850	1,231	123	▲21%

※16:30までに返却された空コンテナ(咲洲一時仮置き分除く)

<参考> 咲洲の空コンテナ返却本数と待機台数(平日)

		返却本数(本)		13時時点の待機台数(台)	
		合計	日平均	合計	日平均
社会実験 実施期間中	10/18~22 10/25~29 (10日間)	1,038	104	135 ※荷さばき地内に待機	14

夢洲道路上待機台数(13時時点の日平均)



### 【今後の対応】

今回の結果を踏まえ、万博期間中の「空コンテナ返却場所一時移転」の実施規模等について検討していくとともに、昼間の回送(海上輸送)の可能性についても検討・協議を進め、物流車両の交通円滑化対策に繋げていく。

令和4年度は、海上輸送による回送を行う社会実験を実施予定。